

入院のご案内



入院生活に必要なことをまとめておりますので
患者様だけでなく、ご家族の方も一緒にお読みください。

入院日 月 日 時頃入院窓口へお越しください。

入院病棟は 病棟 号室の予定です。

もくじ

1、はじめに	ごあいさつ	P6
2、入院手続きについて	確認させていただくもの	P5
	ご提出いただくもの	P5
	入院受付がすみましたら病棟へご案内します	P5
	ご注意	P5
3、入院生活について	必要なもの	P5
	お薬について	P7
	入院中の診療について	P7
	入院中の看護について	P7
	入院中の日課について	P7
	手術について	P8
	お食事について	P8
	栄養相談について	P9
	外出・外泊について	P9
	飲酒・喫煙について	P9
	貴重品について	P9
	病室について	P10
	個別利用料について	P10
4、非常時の対応について	非常災害時の対応について	P11
	面会について	P11
	電話の利用について	P12
	テレビ・保冷庫の利用について	P12
	電気製品の利用について	P12
	入院費について	P13
	入院費用の請求・お支払いについて	P13
	個人情報の取り扱いについて	P16

はじめに

1、ごあいさつ

このたび、入院療養となりましたことに、心よりお見舞い申し上げます。

わたくしども、職員一同、医療水準の向上に努め、良質で安心できる医療や看護を
させていただくことにより、皆さま方に一日も早いご快癒を願っております。

そのために、治療内容や治療方法について、患者さま及び患者さまのご家族様と
ご相談のうえ、懇切丁寧に対応してまいりますので、よろしくお願いします。

また、お気づきのことにつきましては、主治医または看護師、受付までお問い合わせいただき
ますようお願いいたします。

病院長

2、基本方針

胃腸肝臓科、眼科、透析治療、予防医学を中心に専門性を追求した医療提供と、地
域への情報発信を行います。

- 1) 常に最新の知識を身につけ、最適な医療を提供できるよう、自己研鑽を行います。
- 2) 患者さまやその家族に対して、親身になってお話を伺い納得頂けるまで説明いたしま
す。患者さまのことを第一に考え、過去の事例やデータに基づいて意見させていただきます。
- 3) 情報保護に留意します。
- 4) 安全、安楽の医療を提供します。
- 5) 専門分野における患者さまの質問には正確に即応します。



3、患者さまの権利

1. 平等な治療を受ける権利

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。

2. 治療を自己決定できる権利

医療の中心は患者様ご自身です。積極的に医療にご参加ください。

患者様は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

3. 情報を知る権利と情報を提供する責務

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。患者様は、自信の病状や健康に関する正確な情報を提供し治療に積極的に参加する責務があります。

4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して万全の配慮を受ける権利を持っています。

5. 相談する権利

患者様は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

6. 良質な医療を速やかに受ける権利

患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

7. 病院秩序を守る責務があります。

患者様は、他の患者様の療養、治療に支障を与えないよう配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

4、患者さまの安全のために

医療安全（医療安全管理室を設置して病院全体で医療事故防止に努めています。）

1）患者間違いを防ぐために

- ・当院では本人確認のために、入院されましたらネームバンドを装着していただき、手術、検査、注射、処置を行う際、お名前をフルネームで名乗っていただきます。そのため、頻回に確認させていただくことがありますが、ご協力をお願いいたします。
- ・病室への名札は、医療安全のために表示させていただきます。

2）転倒・転落事故防止のために

- ・患者さまは、入院環境の変化や病気やけがによる体力・運動機能の低下により、思いがけなく転倒やベッドから転落することがあります。安全な入院生活を送っていただくために、患者さんや家族の方々と一緒に転倒・転落防止に努めますので、ご協力をお願いいたします。

感染対策（感染対策チームが中心となり清潔で安心な医療環境を提供しています）

※感染防止のために、大勢での面会や小さなお子様連れ、ペット同伴での面会をご遠慮ください。ただし、「身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）」同伴での面会は受け入れています。

※発熱や感冒症状のある方は面会をご遠慮ください。

※面会時にはマスクの着用と手指消毒にご協力をお願いします。

※感染症の流行時には面会を制限させていただく場合があります。



入院手続き

入院当日に入院受付を行います。予約入院は、（原則）10 時までにアクセスプラザ入院窓口にお越し下さい。

確認させていただくもの

- ☐ 健康保険証・各種公費受給者証 ☐ 限度額適用認定証（お持ちの方のみ）
- ☐ 公費受給者証（お持ちの方のみ） ※いずれも該当者のみ

ご提出いただくもの

- ☐ 診察券 ☐ 入院誓約書 ☐ 私物管理承諾書

※入院誓約書の「保証人」は原則として別世帯でお願いいたします。

入院受付がすみましたら、病棟へご案内いたします

※入院時に検査が必要な場合には先に外来にて診察させていただく場合があります。

また入院時の検査及び病棟の状況によって多少お待ちいただくことがあります。

※以下の書類をお持ちの方は、各病棟のスタッフステーションにご提出ください。

- ☐ 入院診療計画書 ☐ 手術・検査同意書
- ☐ 入院時間診票（4 枚つづり） ☐ 個室利用同意書

ご注意

- 入院された後で、保険証などの内容が変わった場合は、必ず新しい保険証などを入院受付までご持参下さい。また、月初めに保険証のご提示をお願いします。
- ご都合により指定の日時に来院できない場合、または入院を取り消される場合は、お早めに当院へご連絡ください。

入院生活

必要なもの

入院中に必要な日用品のレンタルをご利用いただけます。別紙 CS セットのご案内を参照してください。

- CS セット A：衣類(浴衣・甚平・パジャマ・介護寝巻き)+タオル類
- CS セット B：タオル類のみ

※CS セット A・B を申し込まれた方は下記の日用品をご利用いただけます。

ふた付きコップ・ストロー・ティッシュ・使い捨ておしぼり・不織布マスク・綿棒・ヘアブラシ
T 字カミソリ・イヤホン・吸い飲み・うがい受け・歯ブラシ・歯磨き粉・口腔ブラシ
口腔スポンジ・口腔ジェル・口腔ティッシュ・入れ歯洗浄剤・入れ歯ケース・エプロン

※ボディソープ、リンスインシャンプーは浴室に備え付けがあります。

- オムツを持ち込まれる場合は週に 1・2 回程度持ち帰っていただく必要があります。
- レンタルを利用されない方は下記ご参照ください。(私物には記名をお願いします。)

※赤字については CS セットをレンタルされた方も必要となりますので、必ずお持ちください。

① 下着類(肌着、 くつ下 など)	⑨ ティッシュペーパー
② 上着類(カーディガンなど羽織るもの)	⑩ イヤホン
③ ねまき・パジャマ類	⑪ 洗濯物を入れる袋など
④ 洗面用具 [歯ブラシ、歯磨き粉、ヘアブラシ、髭剃り (※ 要介助の方は電気カミソリ)]など	⑫ 病棟内での履物 (すべりにくい履きなれたかかとのあるもの)
⑤ 入浴用具※入浴可能な方(洗面器、 ボディーシャンプー、シャンプー、リンス等)	⑬ 服用・使用中の薬及びその説明書
⑥ 食事用具 (箸、スプーン、湯のみまたはコップ、水筒など)	⑭ 筆記用具 (ボールペン、メモ用紙など)
⑦ タオル	⑮ 印鑑
⑧ バスタオル	⑯ その他指示されたもの

※ 洗濯室のコインランドリーをご自由にご利用いただけます。

お薬について

お薬手帳や薬剤情報提供書をお持ちの場合はご提出ください。

現在服薬中のお薬をすべて（他の病院や診療所のお薬、町の薬局で買ったお薬、インスリン、健康食品、サプリメントなども含む）ご持参ください。お薬手帳、薬剤情報提供書をお持ちの方はご提出ください。

入院中の診療について

○入院中の主治医は外来の担当医と異なる場合があります。

○病棟での診療は、診療科によって異なります。

○ご病気の診断、検査、治療などについては、適宜、主治医からご説明いたしますが、わかりにくい点や ご要望などがございましたらお気がねなくご相談ください。

○患者さまのプライバシーを守るために、患者さま以外に病気の説明を受ける方をあらかじめご家族や信頼できる方の中から選んでおいてください。

◎入院中に当院以外の医療機関で保険診療や投薬を受けることは原則としてできません。（ご家族がお薬だけをもらいに行く場合なども含む）保険が適応にならず自費診療になる場合がありますので必ず事前にご相談ください。他の医療機関で受診等の予定のある方は、受信先医療機関や薬局に提出していただく書類がありますので必ず病棟看護師にお申し出ください。

入院中の看護について

○看護師は交替制で勤務し、24 時間看護にあたっております。

○看護師は入院中の患者さまの療養上の支援を行います。心配なことや困っていることがありましたらご相談ください。

入院中の日課について

○入院中は主治医・看護師等の指示に従い、規則正しい生活を送ってください。

○病棟を離れるとき（リハビリ、入浴、散歩など）は必ず看護師にお声かけ下さい。

○標準的な日課は次ページの通りです。随時回診などがあります。

日課		週間予定
6 : 00	検温（必要時）	・シーツ交換・・・月 火（週 1 回）
7 : 30	朝食	・入浴・・・月 火 金 土（週 2 回）
9 : 00	点滴・処置 など	（医師の許可が必要）
10 : 00	検温	・体重測定・・・水
12 : 00	昼食	（歩行・立位のできる方のみ）
14 : 00	検温（必要時）	夜間巡視時間
18 : 00	夕食	2 1 : 0 0
19 : 00	検温（必要時）	2 3 : 0 0
21 : 00	点滴（必要時）	1 : 0 0
	消灯、検温（必要時）	3 : 0 0

手術について

手術が必要な場合はその内容について、ご本人、ご家族に主治医からご説明いたします。手術の必要性、内容についてご理解、ご承諾をいただきましたら、「手術承諾書」にご本人とご家族（保護者）の署名・捺印をお願いいたします。

お食事について

当院の食事は、治療の一環として医師の指示に基づき、管理栄養士が献立を作成しています。献立は患者様ひとり一人の病態や身体状況に応じて作成し、また旬の食材を取り入れるなど食事を楽しんでいただけるように考慮しております。

- 治療上、または検査等の必要によって食事制限を行うことがあります。
- 食物アレルギーのある方は担当看護師にお申し出ください。
- 食事の変更は、主治医の許可のもと可能な範囲で要望をお受けします。治療の妨げになるような場合、すべてのご希望に添えないことがありますのでご了承ください。
- 患者さまの病状に応じた食事をお出ししているため、食べ物や飲み物を持ち込み、飲食されますと治療の妨げとなる場合がありますのでご遠慮ください。

栄養相談について

- 医師の指示がある場合は、管理栄養士が食事療法についてお話しします。
また、退院後の食生活に関するご相談もお受けいたします。
栄養相談を希望される方は、担当医師又は看護師にお申し出ください



外出・外泊について

- 入院中の外出・外泊については、主治医の許可が必要です。外出・外泊を希望されるときは看護師にお申し出ください。
- 許可証に必要事項をご記入の上、スタッフステーションに提出してください。
- 外出・外泊中は外出・外泊届を携帯し病棟へ戻られたときにスタッフステーションへご返却ください。

飲酒・喫煙について

院内での飲酒は固く禁じています。

院内及び病院敷地内は全て禁煙です。

貴重品について

- 現金や貴重品はお預かりできませんので、必要以上の現金や貴重品等はお持ちにならないでください。
- 床頭台に鍵付きの引き出しがありますのでご利用ください。なお、施錠後、鍵は身に付け患者様ご自身で管理してください。
- 金品の盗難、紛失には当院は責任を負いかねますので、お手回り品の盗難防止等に十分ご注意ください。**

病室について

胃腸肝臓眼科病棟		透析病棟
1st ルーム	110 号室	個室 131～134 号室
2nd ルーム	101～109 号室 111～116 号室	4 人部屋 135～138 号室
3rd ルーム	117～120 号室	※各病室内で透析を行うことができます

個別利用料について

病室のタイプ別に次の個室利用料が発生します。

病室種別		個室利用料（税別）	設備
1st ルーム		5,000 円	VOD 付テレビ（有料） 保冷庫（有料） トイレ 洗面 シャワールーム クローゼット
2nd ルーム		無料	VOD 付テレビ（有料） 保冷庫（有料） トイレ 洗面 クローゼット
3rd ルーム		無料	VOD 付テレビ（有料） 保冷庫（有料） 洗面 クローゼット
透析病棟個室		3,300 円	テレビ（有料） 洗面
透析病棟 4 人部屋		無料	テレビ（有料） 洗面（共同）

※入院当日の病室状況等により、ご希望に添えない場合があります。

また、**入院中患者様の病状変化や病棟運営上の都合などにより、お部屋の変更をお願いする場合がございますのでご了承ください。**

※付き添いをされる方は付き添い許可申請書に署名が必要です。病棟スタッフまでお申し出ください。付き添い者の簡易ベッド・布団・食事を有料にてご利用いただけます。

非常災害時の対応について

- 各病棟に非常の場合の避難経路図を表示しておりますので、入院時に必ずご確認ください。
- 万が一、地震火災等が発生した場合は、医師、看護師など病院職員の指示・誘導に従い、落ち着いて行動してください。
- 火災時、防火扉を閉めますが、手動で開けられますので落ち着いて行動してください。

面会について

- 面会時間は、別紙 **面会のお知らせ**を参照して下さい。
- 面会の際は各スタッフステーションで《面会受付票》に必要事項をご記入ください。
- 回診・処置等、治療中はお待ちいただくことがありますのでご了承ください。
- アレルギー体質や免疫力の低下した患者さまへの感染防止のため、生花や鉢植え、食べ物のお持込みはご遠慮ください。
- 病室に入る前やお帰りの際には、各病室前に速乾性手指消毒アルコール液を常備していますのでご利用下さい。また、マスクの着用もお願いいたします。
- 大勢の方での面会やお子さま連れ、風邪をひいているなど体調が悪い方は面会をご遠慮ください。
- 透析中の面会をご遠慮いただいておりますので、事前に透析シフトのご確認をお願いいたします。

※患者様のプライバシー保護の観点から外部からの電話による患者様に関する問い合わせや取り次ぎには原則応じておりません。

電話の利用について

○公衆電話がロビー、胃腸肝臓眼科病棟スタッフステーション前にありますのでご利用ください。ただし、起床前や消灯後のご利用は、他の患者様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。



テレビ・保冷庫の利用について

○病室に設置してあるテレビ及び保冷庫を利用される場合は、専用のカード（有料）が必要です。カードは自動販売機でご購入いただけます。（販売機は千円札のみ対応）なお、カードは1,000円の1種類で、**使用残り分の払い戻しはできません。**

○他の患者さまのご迷惑とならないよう、イヤホン等をご使用ください。（個室の場合不要）衛生上の理由により貸し出しはしていませんので各自ご用意ください。

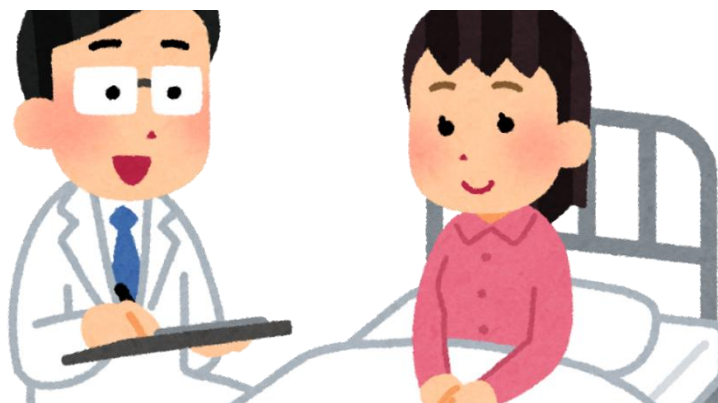
（CSセットをご利用の方はイヤホンがついています。）また、消灯時間の午後9時以降はテレビを消し、同室者のご迷惑にならないようご配慮をお願い致します。

★カード自動販売機設置場所:透析受付前・胃腸肝臓眼科病棟スタッフステーション内

電気製品の利用について

電気製品をご使用の場合は、乾電池での使用範囲内をお願いいたします。

やむを得ず電気製品を使用される場合は、病棟スタッフへご相談ください。

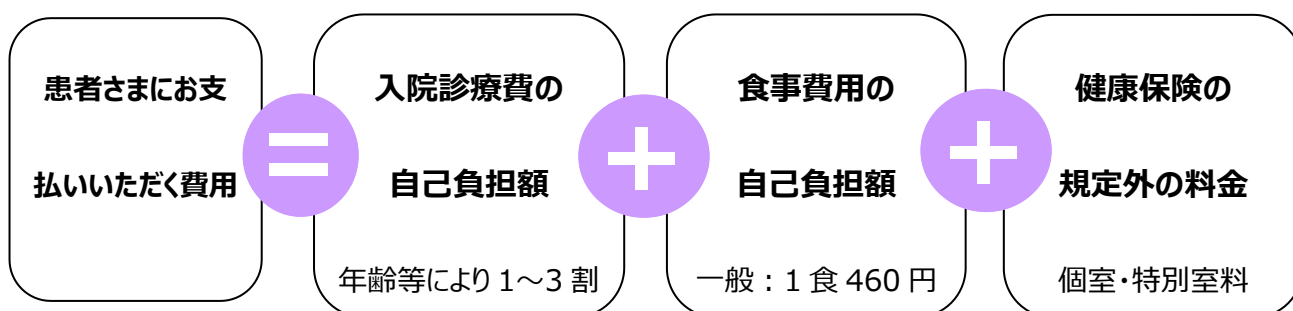


入院費用 について

入院費について

入院費は、入院診療費と食事にかかる費用の自己負担額に、個室利用料、文書料（診断書）など

当院で定めた料金に基づいて算定した額を合算した金額になります。



入院費用の請求・お支払について

○入院中は・・・

入院費は毎月月末で締め切り、翌月の 10 日前後に入院費のお知らせを各病室にお届けします。

入院費のお知らせが届きましたらアクセスプラザに設置しています自動精算機又は、会計窓口でお支払ください。

○退院時は・・・

退院日までの入院費を精算し請求書を発行します。会計計算が出来次第、総合受付にて支払もしくは郵送にてお知らせいたしますのでお支払下さい。

します。入院費のお知らせが届きましたら自動精算機又は会計窓口でお支払ください。

（会計窓口取扱い時間 平日 8:30～17:30）

○下記クレジットカードがご利用いただけます。

※分割・リボ払いでの支払いも可能です。



入院診療費の算定方法 (健康保険法等の規定に基づき算定)

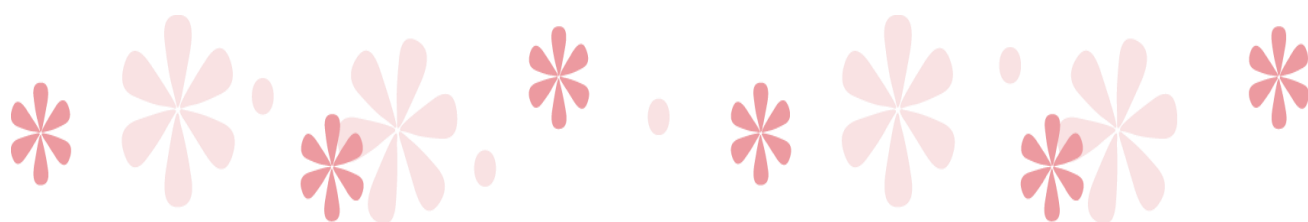
- 入院診療費は健康保険法等で定める点数（入院料・投薬料・注射料・検査料など）に基づいて算定しております。
- 入院料の計算は健康保険法等の定めにより、泊数ではなく1日（暦日）単位で計算されます。 ※ホテル等の宿泊計算と異なり、入室時間にかかわらず深夜0時を起点に日数計算します
(例) 1泊2日入院の場合、個室利用料金は、2日分で計算することになります。
 - ◇ 個室利用料は外泊中においても計算されます。
 - ◆ ご加入の健康保険から発行される「**限度額適用認定証**」の提示により、病院へ支払う1ヶ月分の負担額（保険適用分）が一定の限度額までで済みます。
健康保険証に記載されている保険者にご確認のうえ、入院日までに手続きを行い、発行された限度額適用認定証を入院手続きの際に入退院受付へご提示ください。
 - ◇ 限度額適用認定証を利用されなかった場合でも、負担額が一定の金額（自己負担限度額）を超えた部分について、払い戻される高額療養費制度がありますので、健康保険証に記載されている保険者におたずねください。
 - ◆ 退院時間までに会計計算ができない場合や、土・日・祝日及び平日の時間外に退院される場合は、後日、郵送をさせていただきます。
振り込みを希望される方には、「入院費のお知らせ」を送付させていただきますので、指定の口座へお振込みください。（振り込み手数料は患者さまご負担となります）
 - ◇ 領収書は所得税の医療費控除の申告、高額療養費の払い戻し等に必要となりますので大切に保管してください（**再発行はできません**）。
 - ◆ 透析を受けている患者さまは…
口座振替の申し込みをいただいておりますので、指定口座より指定日にお引き落としさせていただきます。

・入院診療費の算定方法 (健康保険法等の規定に基づき算定)

- 入院診療費は健康保険法等で定める点数に基づいて算定しております。
- 入院料の計算は健康保険法等の定めにより、泊数ではなく1日(暦日)単位で計算されます。※ホテル等の宿泊計算と異なり、入室時間にかかわらず深夜0時を起点に日数計算します
(例)1泊2日入院の場合の入院料個室利用料金は2日分で計算することになります。
 - ◇ 個室利用料は外泊中においても計算されます。
 - ◇ ご加入の健康保険から発行される「**限度額適用認定証**」の提示により、病院へ支払う1ヶ月分の負担額(保険適用分)が一定の限度額までで済みます。
健康保険証に記載されている保険者にご確認のうえ、入院日までに手続きを行い、発行された限度額適用認定証を入院手続きの際に入退院受付へご提示ください。
 - ◇ 限度額適用認定証を利用されなかった場合でも、負担額が一定の金額(自己負担限度額)を超えた部分について、払い戻しされる高額療養費制度がありますので、健康保険証に記載されている保険者におたずねください。

入院時食事療養費について

- 入院診療費とは別に食事負担金をご負担いただきます。
 - ◇ 市町村民税非課税世帯の方及び老齢福祉年金受給者の方で、ご加入の保険者(老人の方は市町村)発行の「**標準負担額減額認定証**」をお持ちの方は、食事の負担額が減額されますので、入院手続きの際に入退院受付へご提示ください。
- なお、ご提示がない場合は、一般の方と同様の取り扱い(1食 360円)となります。



その他

個人情報の取り扱いについて

当院では、患者さまに安心して医療を受けていただくために、安全な医療・看護・介護を提供するとともに、患者さまの個人情報の取り扱いにも万全の体制で取り組んでおります。

◆個人情報の利用目的について

当院では患者様の個人情報を別記の目的で利用させていただいております。

これらの目的以外に利用の必要が生じた場合には、改めて患者さまの同意をいただくこととしております。

◆個人情報の開示・訂正・利用停止について

当院では患者様の個人情報の開示・訂正・利用停止につきましても個人情報の保護に関する法律の既定に従いすすめております。

【別記】当院における個人情報の利用目的について

1. 院内での利用

- ・ 患者様に提供する医療サービス
- ・ 医療保険事務
- ・ 入退院などの病棟管理
- ・ 会計、経理
- ・ 医療事故などの報告
- ・ 患者様への医療サービスの向上
- ・ 院内看護、介護など実習への協力
- ・ 医療の質の向上を目的とした院内症例検討、研究
- ・ その他、患者様に係る管理運営業務

2. 院外への情報提供として利用

- ・ 他の病院、診療所など各医療関係者との連携
- ・ 他の医療機関からの照会への回答
- ・ 診察などのため外部医師などに意見助言を求める場合
- ・ 検体検査業務の業務委託

- ・ ご家族への病状説明
- ・ 保険事務の委託
- ・ 審査支払機関へのレセプト提供
- ・ 委託を受けた健康診断の事業者などへの結果通知
- ・ 審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ・ 医師賠償責任保険などに係る、専門団体、保険会社への届出
- ・ 匿名化を行った上での、診療目的外の医学研究
- ・ その他患者様への医療保険事務に関する利用

3. その他の利用

- ・ 医療介護などの業務維持、改善のための基礎資料
- ・ 外部監査機関への情報提供

※上記のうち、他の医療機関、介護関係事業者などへの情報提供などについて
同意しがたい事項がある場合にはその旨を申し出てください。

※申し出がないものについては、同意して頂けるものとして取り扱わせていただきます。

※これらの申し出は、後からいつでも撤回および変更することができます。



入院中は医師や看護師等の指示に従ってください。お守りいただけない場合
や入院中に院内で喫煙、飲酒、暴言、暴力、セクシャルハラスメント、無断外
出等があった場合には退院していただくことがありますのでご注意ください。



医療法人社団プロGRESS

四日市消化器病センター

—— 常に進化する医療機関 ——



接続 SSID

Shoukaki-guest

パスワード

takamatsu3000

面会のお知らせ

当院では、患者様に安心して療養していただくために、面会に関するルールを設けております。ご理解とご協力をお願いいたします。

面会は予約制となります。面会をご希望の方は、病棟スタッフへお声がけいただくか、お電話にてご予約をお願いいたします。

面会可能時間 全日 13:30~16:30 1回15分

面会者 入館は2名まで
(18歳以下は窓越し面会となります)

連絡先 059-326-3000



- 手術や治療に伴うご家族への説明、付き添いが不可欠であるなど

当院からご依頼する場合はこの限りではありません。

- 面会時は手指消毒を済ませ、マスク着用の上お越しください。
- 独歩または車椅子に移乗可能であれば食堂や病棟入口にて面会

ベッド上安静の方は病室にて面会となります。

病棟・病室運用についてのお願い

当病院では、個室を含めた病室・病棟の運用は患者様の病状に応じて行っております。そのため、患者様ご自身又は他の患者様の病状・検査・緊急の処置等を必要とするために、入院中の患者様には病室の移動をお願いする事があります。

患者様のご希望に添えない場合がありますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

四日市消化器病センター病院長